

13日（金）に、市内の5つの小学校が、マダイの稚魚放流に参加しました。

午前中は名向小、旭小、南下浦小、午後は三崎小と剣崎小の児童、合計約130名が体験しました。

最初に、神奈川県栽培漁業協会の今井専務理事から、「なぜ稚魚放流をするのか」「磯焼け等海の現状」について説明を受けた後、小パール隊が作ってくれた魚のすべり台を利用して放流しました。



小パール隊の皆さん、ありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは、貴重な体験ができました。



マダイの稚魚放流を体験しての感想（南下浦小、旭小編）

- ・元気がいいマダイとのんびりしているマダイがいて不思議だった
- ・マダイを逃がすすべり台がすごかった
- ・マダイの背びれのところがチクチクだった
- ・養殖物のタイは、鼻の穴がつながるのが不思議だと思った
- ・マダイは、オスとメスの色が違うことにおどろいた
- ・マダイが日焼けするときいてビックリした
- ・マダイが飛び跳ねたのがおどろいた



- ・マダイがかわいかった/また受けてみたい
- ・マダイがたらこ唇なのが不思議だった
- ・魚のウォータースライダーみたいだった
- ・マダイがどこに行くのかを知りたい
- ・魚を海に、自然に帰して楽しかった
- ・大きくなった姿を早く見てみたい



- ・流しそうめんみたいに流れて行って、おもしろかった
- ・マダイが大きくなって、またもどってくるのが楽しみです
- ・元気な子やおとなしい子がいて、マダイにも性格があることを初めて知った
- ・初めてマダイの放流をするので、とてもワクワクしていた/今回の授業を受けて、マダイのことを、とても調べてみたくなった

- ・マダイを海に逃がすときに、「大きくなってね」っていうのが楽しかった
- ・広い海に、小さな命がたくさんあるんだ、と思った
- ・あんなに小さなマダイが大きくなるのが楽しみになった

（文責 事務局長 渋谷）

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで